



市長定例会見

- 1 令和7年12月市議会定例会の補正予算について
- 2 トイレトレーラーの導入について

令和7年12月3日（水曜日）

令和7年12月定例会 補正予算

一般会計と5つの特別会計で 1億 7,779万円を増額

①一般会計	+ 1億 6,134万円
②公共用地先行取得事業 特別会計	+ 450万円 ※事業費の増、繰越明許費
③国民健康保険（事業勘 定）特別会計	+ 416万円 ※人件費、国県支出金の精算返還金
④国民健康保険（直営診 療施設勘定）特別会計	+ 408万円 ※事業費の増、基金の積立て
⑤後期高齢者医療保険特別 会計	+ 186万円 ※人件費、事業費の増、債務負担行為
⑥介護保険特別会計	+ 185万円 ※人件費、事業費の増

一般会計 1億 6,134万円の内訳（主なもの）

1 人件費に関するもの

〔+9,389万 7千円〕

(1) 特別職（議員、市長、副市長、教育長）	補正額	81万円
(2) 一般職（会計年度任用職員を含む）	補正額	9,308万 7千円

2 事業費の増に伴うもの

〔+2億 2,132万 8千円〕

★(1) ふるさと納税推進事業費（寄附額 2億 2,000万円のうち、事務費）	補正額	1億 1,000万円
(2) 避難支援事業費	補正額	9万 6千円
(3) 高齢者援護事業費	補正額	470万円
(4) 高齢者難聴対策事業費	補正額	148万円
(5) 子ども居場所づくり事業費	補正額	2,000万円
(6) 私立保育所運営助成事業費	補正額	860万円
(7) 私立認定こども園運営助成事業費	補正額	6,790万円
(8) 施設維持管理費（児童館）	補正額	114万円
(9) 交通安全施設整備事業費	補正額	100万円
(10) 消防団運営事業費	補正額	241万 2千円
(11) 防災対策事業費	補正額	400万円

3 債務負担行為

〔限度額：+5億 7,562万 7千円〕

★(1) コミュニティバス運行業務委託事業	限度額	900万円
★(2) 道路等維持管理マネジメントシステム導入事業	限度額	330万円

一般会計 1億 6,134万円の財源内訳

特定財源	+ 1億 4,940万 7千円	国庫支出金 + 2,013万 3千円 県支出金 + 407万 6千円 市債 △ 6,800万円 分担金・負担金 + 5万円 繰入金 △ 3,200万円 寄附金 + 2億 2,273万 6千円 諸収入 + 241万 2千円
一般財源	+ 1,193万 3千円	繰越金 + 1,193万 3千円

9月末までの寄附実績に基づき、本年度のふるさと納税寄附金額を6億2,000万円と見込み、2億2,000万円を増額します。

寄附実績

本年9月末実績：20,217件 3億 3,781万 8千円 (前年同月比 313%)
【参考】R6年度実績：24,728件 3億 9,092万 1千円
R6年9月末実績：7,198件 1億 805万円

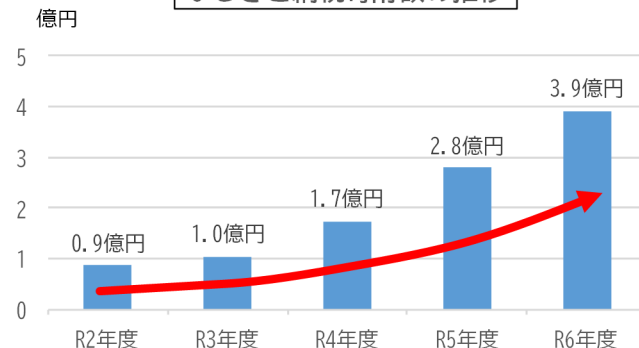
着実な実施

取組例

- 返礼品の開発
 - ・返礼品数 約1,000品 【参考】R2年度 250品
- ポータルサイトの運用
 - ・R7年度サイト数 10サイト [参考]R2年度 4サイト
- PRの強化
 - ・専用特設サイトやSNSでの情報発信 等

今後も継続

ふるさと納税寄附額の推移



①市の認知度向上、②市のファン獲得、③市内事業者の販路拡大、④市民サービスの向上
を目的に、ふるさと納税を推進

コミュニティバス下徳良・垣内線を令和8年4月以降、さらに1年間継続運行します。
（令和8年3月までに運行業務事業者と契約するための債務負担行為）

- 運行目的 路線バスとの乗り継ぎ
（中国バス 甲山・三原線）
- 運行開始 令和7年4月1日～
- 運行内容 平日7便 土曜4便 日曜2便
- 利用状況（R7.4月～10月）
平均1.3人/便、延べ利用者数 1,418人

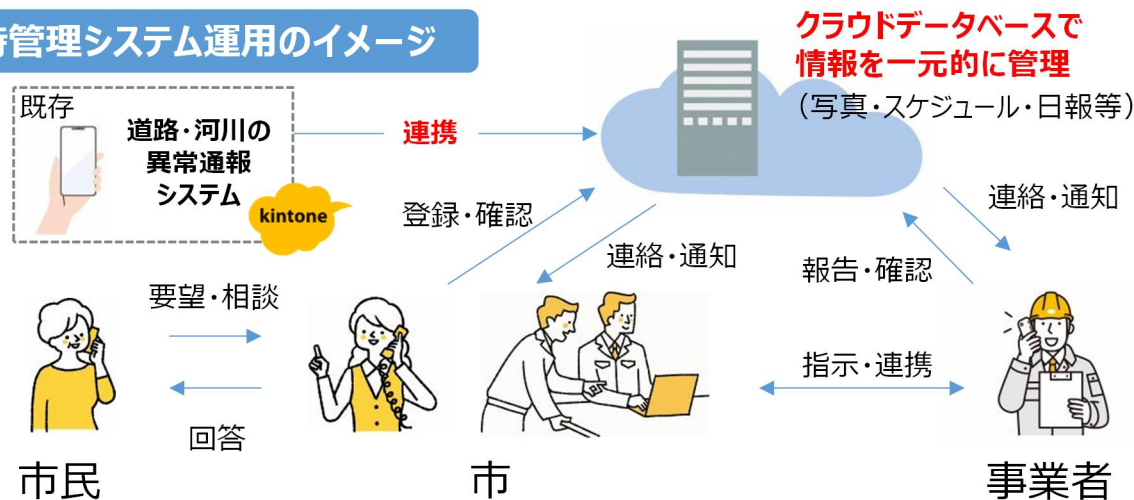


道路等維持管理マネジメントシステム導入事業

<担当課：土木管理課>

地域住民からの多様化する要望相談に対し、市と施設維持を行う事業者が情報を一元的に把握し、対応の効率化を図るため、道路等維持管理マネジメントシステムを導入します。

維持管理システム運用のイメージ



【導入効果】

- ・リアルタイムな情報共有
- ・地図や写真で状況を見える化
- ・日報等、書類作成自動化

業務効率化により、対応がスピードアップ

※包括的民間委託（R8年度中開始予定）への活用も念頭に、システム構築するため、債務負担行為を設定。

トイレトレーラーの導入について 導入の目的及び経緯

目的

誰もが安心して利用できるトイレ環境の確保
災害時における被災地への応援（受援）体制の構築

導入に至った経緯

大きな課題

- ・災害時の断水や配管の破裂等によりトイレが使えなくなる
- ・排泄物で一杯になるなど、劣悪な衛生状態となる

避難者がトイレを使用を避け、水分等を控える

脱水症状の結果、心筋梗塞やエコノミークラス症候群等を発症

『災害関連死』

水洗式で移動可能な
トイレトレーラーを導入



▲ トイレトレーラー（けん引車両付）

特徴

① 「いつでも」

- ・様々な給排水、給電方法に対応
- ・有事、平時を問わず様々なシーンで使用可能

② 「どこでも」

- ・普通免許で移動可能
- ・駐車スペースはミニバン 1 台分

③ 「だれでも」

- ・バリアフリー仕様（スロープ、手すり等）



▲ トイレ室内



▲ スロープ

導入費用及び運用方法

導入費用

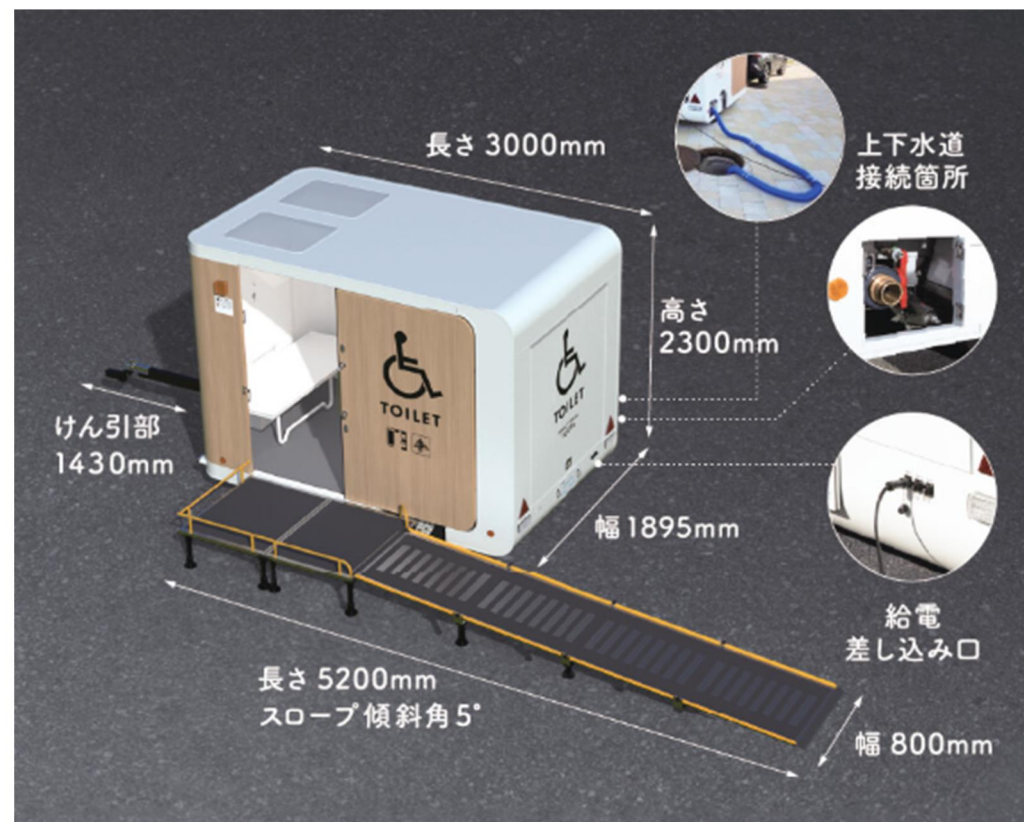
約1480万円（新しい地方経済生活環境創生交付金
（地域防災緊急整備型）を活用）

主な仕様

トイレ種別	真空式トイレ
排水タンク容量	約100リットル ※使用回数約100回
スロープ角度	約5°
その他の設備	収納式多目的シート、空調機器、 大型の投入口付きゴミ箱、カーテン等

運用方法

災害時は、状況に応じて避難所等に配備 災害時以外は、イベント等で活用
災害対応車両登録制度における被災地の派遣にも活用



▲ トイレトレーラーの仕様

納車式のお知らせ

日 時	令和7年12月 9 日（火） 13時30分～14時	
場 所	三原市消防本部（三原消防署北訓練場） （三原市宮浦一丁目22番2号）	
式次第	1 開会 2 主催者挨拶（市長） 3 来賓挨拶 4 車両の鍵授与	5 車両の紹介 6 関係者記念撮影 7 車両内覧会 8 閉会
備 考	車両内覧会では、車内設備の見学が可能 車椅子での実演を予定 取材申し込みは危機管理課まで電話（TEL 0848-67-6165） をお願いします	

